

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL <http://global-dining.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 (役職名)取締役最高財務責任者 (氏名)添田 裕一郎 TEL 03-5469-3223
 問合せ先責任者 兼経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	6,898	△7.2	△173	—	△212	—	△693	—
21年12月期第2四半期	7,433	—	116	—	244	—	141	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	△69 07	—
21年12月期第2四半期	15 38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	9,014	4,469	49.1	440 74
21年12月期	10,192	5,201	50.7	514 89

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 4,427百万円 21年12月期 5,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	13,814	△8.5	△199	—	△249	—	△748	—	△74 45	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期2Q	10,052,600株	21年12月期	10,052,600株
② 期末自己株式数	22年12月期2Q	7,855株	21年12月期	7,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期2Q	10,044,745株	21年12月期2Q	9,204,559株

* 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 02
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 02
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 02
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 03
2. その他の情報	P. 04
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 04
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 04
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 04
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 04
3. 四半期連結財務諸表	P. 05
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 05
(2) 四半期連結損益計算書	P. 07
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 08
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 09
(5) セグメント情報	P. 09
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 09

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成22年8月6日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が低水準にとどまるなか、厳しい雇用情勢や所得環境が続いていることから、個人消費は依然として低迷基調のまま推移いたしました。

外食業界におきましても、消費者の節約志向や低価格志向が強まり、依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、役員報酬の減額及び従業員の賃金減額、また、不動産オーナー様との賃料減額交渉等、コスト削減並びに営業力の強化による業績の向上に努めてまいりましたが、経営資源の効率的運用及び収支改善を図るため、収益改善の見込めない「モンズーンカフェ南青山」1店舗を閉店いたしました。また、中華人民共和国マカオ特別行政区において、「フードコロシウム マカオ」の運営を行っている連結子会社グローバルダイニング マカオ リミテッドにつきまして、世界的な金融恐慌による個人消費の低迷や他社との競合により、今後の業績回復が困難と判断するにいたり、6月9日付の取締役会決議に基づき、グローバルダイニング マカオ リミテッドの事業を6月11日付で事業譲渡し、解散及び清算手続きを進めることを決定いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は66店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、68億98百万円（前年同期比7.2%減）となりました。売上高をコンセプト（営業形態）別にみると「ラ・ボエム」は20億32百万円（同8.9%減）、「ゼスト」は6億97百万円（同7.9%減）、「モンズーンカフェ」は16億3百万円（同7.3%減）、「権八」は14億円（同1.4%減）、「ディナーレストラン」は4億38百万円（同1.6%減）、「フードコロシウム」は3億96百万円（同19.6%減）、「その他」は3億29百万円（同7.4%減）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比9.7%の減収となりました。

利益につきましては、営業損失1億73百万円（前年同期は営業利益1億16百万円）、経常損失は2億12百万円（前年同期は経常利益2億44百万円）、四半期純損失は、繰延税金資産の取り崩しを行ったこと等により、6億93百万円（前年同期は四半期純利益1億41百万円）となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考として記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して11億77百万円減少し、90億14百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して2億57百万円減少し、13億2百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が97百万円、売掛金が92百万円、原材料及び貯蔵品が50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して9億20百万円減少し、77億12百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物が4億87百万円、工具、器具及び備品が85百万円それぞれ減少したことに加え、当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産2億53百万円を取り崩したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して1億25百万円減少し、29億71百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金が1億98百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金1億25百万円、買掛金1億2百万円、未払費用63百万円、未払法人税等45百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して3億19百万円減少し、15億73百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金3億15百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して7億32百万円減少し、44億69百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が6億93百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して47百万円減少し、5億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失4億60百万円、減価償却費2億79百万円、事業整理損1億81百万円、売上債権の減少92百万円、たな卸資産の減少49百万円、法人税等の納付54百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は16百万円（前年同期は1億90百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出25百万円、定期預金への預入による支出10百万円、定期預金の払戻による収入60百万円、事業譲渡による収入1億37百万円、保証金の回収による収入20百万円などにより、投資活動の結果得られた資金は1億82百万円（前年同期は5億17百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金1億98百万円の増加、長期借入金の純減4億40百万円などにより、財務活動の結果支出した資金は2億45百万円（前年同期は77百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における実績の推移や第3四半期以降の市場環境の動向等を踏まえ、店舗の売上高及び売上原価率の計画や販売管理費等を見直した結果、売上高138億14百万円、営業損失1億99百万円、経常損失2億49百万円、当期純損失7億48百万円を見込んでおります。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生の状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	544,453	642,432
受取手形及び売掛金	329,545	422,456
原材料及び貯蔵品	180,115	230,499
前払費用	130,485	145,068
繰延税金資産	69,003	37,087
その他	49,005	82,097
流動資産合計	1,302,609	1,559,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,474,582	10,963,356
減価償却累計額	△6,125,291	△6,100,313
減損損失累計額	△1,638,920	△1,665,406
建物及び構築物 (純額)	2,710,370	3,197,636
車両運搬具	9,993	10,271
減価償却累計額	△9,830	△10,085
車両運搬具 (純額)	162	185
工具、器具及び備品	1,998,552	2,072,648
減価償却累計額	△1,669,732	△1,655,949
減損損失累計額	△90,529	△92,970
工具、器具及び備品 (純額)	238,290	323,729
土地	2,928,062	2,969,618
リース資産	25,528	25,528
減価償却累計額	△4,438	△1,885
リース資産 (純額)	21,090	23,643
建設仮勘定	8,102	735
有形固定資産合計	5,906,078	6,515,548
無形固定資産		
ソフトウェア	46,979	62,971
電話加入権	10,575	10,575
その他	480	521
無形固定資産合計	58,034	74,067
投資その他の資産		
投資有価証券	7,784	8,687
長期前払費用	38,526	37,749
繰延税金資産	—	253,257
差入保証金	1,701,803	1,743,505
投資その他の資産合計	1,748,114	2,043,199
固定資産合計	7,712,227	8,632,816
資産合計	9,014,837	10,192,458

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,611	591,419
短期借入金	710,000	512,000
1年内返済予定の長期借入金	895,879	1,021,384
リース債務	5,361	5,361
未払金	124,460	162,994
未払費用	562,598	625,845
未払法人税等	28,041	73,989
未払消費税等	38,808	65,410
店舗閉鎖損失引当金	39,380	—
その他	78,356	38,930
流動負債合計	2,971,498	3,097,336
固定負債		
長期借入金	1,510,536	1,825,898
リース債務	17,230	19,911
退職給付引当金	25,049	29,349
店舗閉鎖損失引当金	19,000	18,000
その他	1,654	—
固定負債合計	1,573,470	1,893,158
負債合計	4,544,969	4,990,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,472,118
資本剰余金	2,127,118	2,127,118
利益剰余金	1,231,880	1,925,666
自己株式	△9,692	△9,692
株主資本合計	4,821,424	5,515,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,410	2,945
為替換算調整勘定	△396,712	△346,239
評価・換算差額等合計	△394,302	△343,293
新株予約権	42,745	30,047
純資産合計	4,469,867	5,201,963
負債純資産合計	9,014,837	10,192,458

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	7,433,435	6,898,173
売上原価	6,666,671	6,514,697
売上総利益	766,763	383,475
販売費及び一般管理費	649,906	556,705
営業利益又は営業損失(△)	116,856	△173,229
営業外収益		
受取利息	226	42
為替差益	150,823	—
その他	15,588	21,468
営業外収益合計	166,638	21,511
営業外費用		
支払利息	28,896	24,167
株式交付費	2,702	—
為替差損	—	36,958
その他	7,685	95
営業外費用合計	39,284	61,221
経常利益又は経常損失(△)	244,211	△212,939
特別利益		
訴訟和解金	32,643	—
受取保険金	8,377	9,013
特別利益合計	41,021	9,013
特別損失		
固定資産除却損	19,387	11,335
減損損失	—	11,519
事業整理損	—	183,680
たな卸資産評価損	—	10,479
店舗閉鎖損失	22,998	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	39,380
特別損失合計	42,386	256,395
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	242,846	△460,321
法人税、住民税及び事業税	51,152	10,099
法人税等調整額	50,122	223,364
法人税等合計	101,275	233,463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	141,570	△693,785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	242,846	△460,321
減価償却費	294,525	279,625
固定資産除却損	20,820	11,374
減損損失	—	11,519
事業整理損	—	181,573
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	39,380
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,860	△4,299
受取利息及び受取配当金	△323	△157
支払利息	28,896	24,167
為替差損益(△は益)	△150,823	36,958
株式交付費	2,702	—
売上債権の増減額(△は増加)	125,393	92,446
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,158	49,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,089	△101,515
その他	△220,799	△63,436
小計	343,446	96,800
利息及び配当金の受取額	323	157
利息の支払額	△33,835	△26,573
法人税等の支払額	△119,582	△54,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,351	16,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△515,170	△10,000
定期預金の払戻による収入	340,047	60,007
有形固定資産の取得による支出	△328,528	△25,466
事業譲渡による収入	—	137,140
差入保証金の差入による支出	△3,142	—
差入保証金の回収による収入	528	20,860
その他	△11,179	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△517,445	182,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△210,000	198,000
長期借入れによる収入	469,000	109,732
長期借入金の返済による支出	△648,040	△550,599
リース債務の返済による支出	—	△2,680
株式の発行による収入	497,301	—
自己株式の取得による支出	△37	—
配当金の支払額	△30,748	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,474	△245,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,101	△1,144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△248,517	△47,971
現金及び現金同等物の期首残高	519,905	592,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,387	544,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。